

地域外の民間経営資源を活用し、『総合計画』日常生活の支援（政策 03-施策 01-基本事業 01）、介護予防・社会参加の推進（03-01-04）、買物環境改善による市内購買力向上（04-02-04）、観光客入込数（04-03）、市内の交通手段の確保（05-03-01）の成果指標向上を目的とする。

誰のために

何を

どうしたいのか

実証内容

どうやって

80歳以上の高齢者

要支援・要介護の方

約2,500人

約4,800人

市外の高校に通学する学生

公共交通機関で来市する観光客

70歳代の高齢者

約5,200人

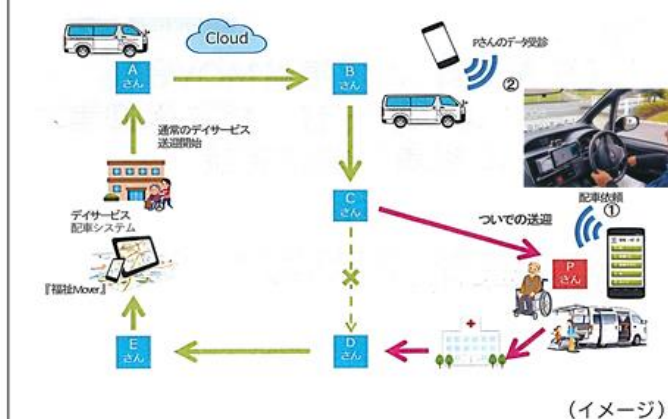


・予約制デマンド交通は不便
・年金ではタクシー使えない。
・病院、駅へのアクセス悪い。
・ボランティアだけでは限界。
・免許返納したもの……。『車がないと生活できない』



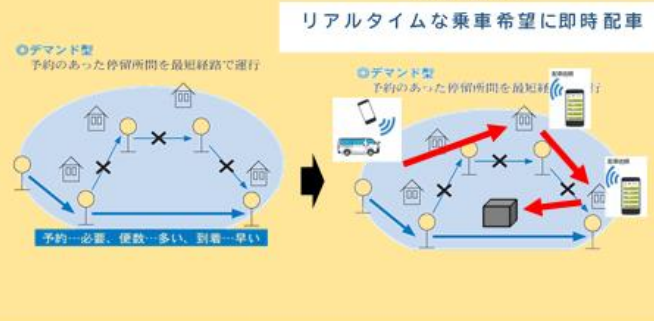
・部活帰りのバス不便

■デイスサービス送迎車を活用した相乗りの仕組み構築



(イメージ)

■予約制デマンド交通 → リアルタイムデマンド交通 (市営バス)



A I 配車サービス「福祉Mover」の活用



協力者

(一社) ソーシャルアクション機構
株未来シェア

経済産業省 『地域・企業共生型ビジネス 導入・創業促進事業』活用

【概要】

中小企業等が地域に共通する社会課題について、一体的に解決する取組などを技術やビジネスの側面から実証する取組を支援。

・実証支援 補助率2/3

【事業費】 53,850 千円



■阿賀野市内参画福祉法人
・飛翔福祉会
・阿賀北総合福祉協会
・はあとふるあたご